



平成15年度指定 高指第103号

青木 喜作

生年／昭和14年 指定技術名／銅器・彫金 住所／高岡市福岡町本領1146-5



さとのまい

里の舞

金、銀の象嵌や銀布目象嵌、赤銅の高肉象嵌など、様々な技法を駆使し、金属の色彩を巧みに組み合わせることで、自然豊かな山里、川面をホタルが飛び交う暖かな情景を作り出している。長年の経験と卓越した象嵌技術により、繊細で緻密な装飾品制作など幅広く手懸ける技術者である。

平成17年作

素材・技法／青銅、金、銀、赤銅・布目象嵌

寸法／高さ30cm×幅14cm×奥行14cm

[表彰・受賞歴]

昭和50年 高岡伝統工芸加工振興展最優秀賞
昭和54年 日展入選(以後、2回)
日本新工芸展入選(以後、4回)
平成11年 日本伝統工芸士会長表彰
平成17年 中部経済産業局長表彰
平成20年 瑞宝単光章
平成25年 高岡市市民功労者表彰

[経歴]

昭和31年 富山県立職業訓練所卒後、京田藤二氏に師事し彫金技術を習得
昭和41年 独立自営、現在に至る
昭和53年 平井昇氏の蛸型後継者育成研修に参加(～60年)
平成 2年 金森映井智氏(人間国宝)に師事し象嵌技法を学ぶ
平成10年 伝統工芸士に認定
平成16年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定